

2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	保育学科	履修者数	2,938
------	------	------	-------

回答者数	1,674
------	-------

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	519	592	213	350	0
	31.0	35.4	12.7	20.9	0.0

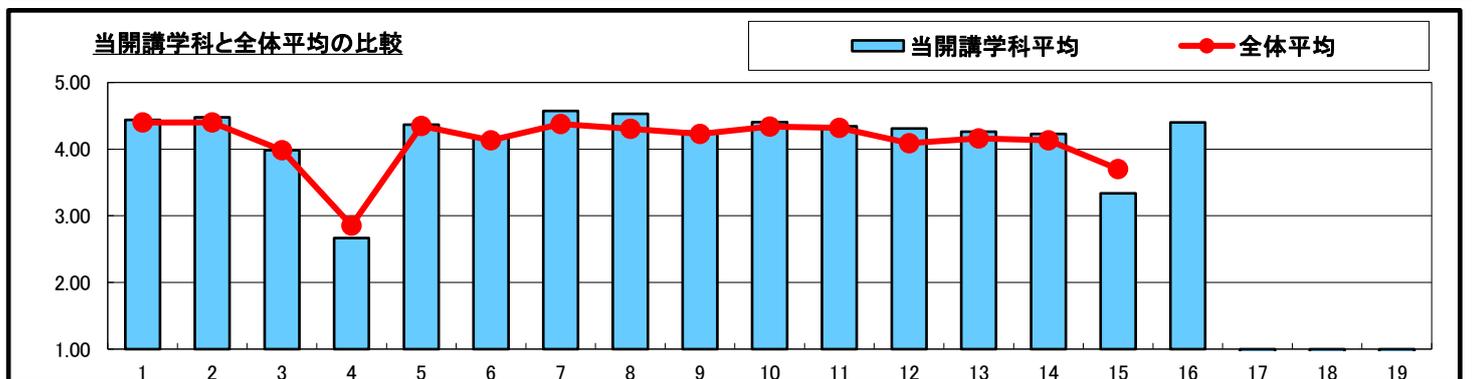
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.44	908 54.3	642 38.4	78 4.7	39 2.3	5 0.3	1,672	2
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.48	993 59.5	539 32.3	93 5.6	36 2.2	9 0.5	1,670	4
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	3.98	565 33.8	679 40.6	284 17.0	124 7.4	21 1.3	1,673	1

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.66	2時間以上 120 7.2	1時間以上 2時間未満 252 15.1	30分以上 1時間未満 529 31.7	30分未満 487 29.1	全くして いない 283 16.9	1,671	3
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.37	856 51.2	595 35.6	200 12.0	15 0.9	5 0.3	1,671	3
6	この科目の難易度は適切であった	4.18	731 43.7	643 38.4	188 11.2	91 5.4	20 1.2	1,673	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.57	1,077 64.6	498 29.9	72 4.3	11 0.7	9 0.5	1,667	7
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.53	1,038 62.2	516 30.9	90 5.4	16 1.0	10 0.6	1,670	4
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.26	863 51.6	513 30.7	198 11.8	61 3.7	36 2.2	1,671	3

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.41	926 55.6	561 33.7	125 7.5	40 2.4	14 0.8	1,666	8
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.34	886 53.1	564 33.8	141 8.5	61 3.7	16 1.0	1,668	6
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.31	870 52.2	551 33.1	159 9.5	65 3.9	22 1.3	1,667	7
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.26	812 48.6	599 35.8	166 9.9	71 4.2	23 1.4	1,671	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.23	767 46.0	611 36.7	212 12.7	56 3.4	20 1.2	1,666	8
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.33	十分に 読んだ 285 17.1	よく読んだ 515 30.8	どちらとも いえない 481 28.8	ほとんど 読まなかった 252 15.1	全く読んで いない 137 8.2	1,670	4

▼学科設問									
16	この授業の学修を通して、保育学部のDP 5項目のうち1項目以上の力を身に付けることができたか	4.40	859 51.4	672 40.2	105 6.3	19 1.1	15 0.9	1,670	4
17		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,674
18		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,674
19		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,674



2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	保育学科
講評者	保育学科長 柴田賢一

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学部のアンケート結果は大学全体と大きな差はないが、項目 1, 2 についてはわずかに上回る数値であった。保育学部はその特性として保育者を養成するという目的が明確な学部であり、授業と将来の職業の関連が他学部と比較しても一層深いものがあると考えられるため、授業参加への熱意はさらに向上させていきたいところである。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	この項目群についても総体的に大学全体の数値を上回っているものの、項目 4 の授業外学修に対する数値が顕著に低い。下の項目 15 を中心に、他の項目と併せて読み取ると、保育学部の学生は授業の時に参加型の学修で学びを深めるが、授業への準備や時間外での取り組みが少ない傾向にあると考えられる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	上記の 2 項目群と同様に、項目群としてみれば大学全体の数値を上回るが、項目 15 のみが顕著に低い。授業だけではなく、学生がシラバスを読むところから始めて、授業全体の見通しを持つことや、授業外での学修を計画的に行うことで学修を全体的に深めるように、各授業で指導していくことが今後の課題の一つであると考えられる。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	学生が学科の DP に即した学習成果をおおむね修めているものと考えられる。今後、履修カルテの運用と併せて DP の周知、すなわち卒業までに身につけるべき学修成果の理解をさらに個々の学生に促していきたい。